



長い夏休みの間のはじめに地元「霧が丘盆踊り大会」では第1期卒業生が多く集まり、屋台出店を手伝い一緒に盛り上げてくれました。学園の子どもたちは、それぞれ充実したお休みを経て一回り大きく、逞しくなって2学期を迎えました。

クラスだより

9年生 鍛金実習

9年生は7月22日(火)～4日間、藤野のシュタイナー学園に通い、鍛金実習を行いました。

担任の神田昌実先生にお聴きした実習の様子をご報告します。



鍛金実習では、銅板を丸く切り抜き、それを熱して槌でたたいて器の形にしていきます。藤野の高等部の講師日比先生のご指導のもと、子どもたちは皆熱心に取り組みました。日比先生は9年生の集中力とやる気にすっかり驚くと同時にとても喜んでくださって、「才能がある子が何人もいますね。こういう道に入ってほしいですねえ。生活は大変だけど・・・(笑)」などと話されたそうです。



昼休みも先生たちが教員室でお昼を食べていると「カンカンカン・・・」と槌の音が聞こえてきて「ハハハ・・・もっと休めばいいのになあ。仕方ないじゃあ行くか！」と先生はいつもより早めに昼休みを切り上げて子どもたちに付き合ってくれていたそうです。



途中、生徒たちの中に些細なけんか(いつものこと?)がありました。先生は「けんかは大いに結構。でも心に雑念があると打った槌目に全部出るよ・・・」と諭され、その後子どもたちは切り替えて、静かに真剣に作業に入りました。実際先生の槌目はとてもきれいで、音も何だか違う、ということに子どもたちは気づいたようです。

最後に、器の底に小さく名前を刻印して出来上がりです。仕上げはピカールで磨いた人が左側、硫黄につけて黒くした人が右側です。それぞれ生徒たちの個性が出ていてどれも美しいです。



息子は毎日2時間半かけて暑い中藤野まで通いましたが、その間少しも疲れた様子はありませんでした。製作中は思うようにいかなかったりいろいろ悩みもあったようですが、今は、自分で作った胸のコップで毎日水を飲んでいきます。

2日目の昼休みには藤野の生徒さんたちが開いて下さったかき氷パーティーもあり、楽しく充実した4日間となりました。

日比先生を始め藤野の皆さん、貴重な時間を過ごさせていただいたことに感謝いたします。どうもありがとうございました。

(9年生保護者 小林直子)

7,8年生 ヨット乗船

2学期開始間もない9月3日(水)7、8年生はヨットに乗船してきました。

昨年の横山クラスの体験がとてもよかったということで、今年も7年生を是非連れて行きたいと考えていました。人数が少ないので費用、引率両面で懸念されたのですが、体育の授業として8年生も一緒に行くこととなり実現にこぎつけました。

当日は天候に恵まれ、海は大変穏やかでした。

江の島のヨットハーバーを出航し、堤防の外に出ると帆をあげて葉山沖まで連れて行っていただきました。そこで停泊し、ヨットの周りを泳いだり、ヨットから飛びこんだり、近くの小島まで泳ぎ磯遊びを楽しんだりと海を満喫してきました。船長さんが予定の時間を大幅に延長してたっぷり時間を取ってくださり、ゆったりと楽しむことができました。



行き帰りには、船の舳先に座らせていただいたり、後部で足を海に下ろし船のスピードを体感したりとヨットならではの体験をたくさんさせてもらいました。中には船に引っ張ってもらって身体全体でスピードを体感させてもらった生徒もいます。なかなかできない体験に7年生も8年生も歓声をあげながら楽しんでいました。



安全面に気を配ってくださった船長始め乗組員のみなさん、乗船のための費用面などの援助をしてくださった監事の住田さんなしにはこの体験はできませんでした。

7年生はこの体験を2学期に世界史の大航海時代を学ぶ時のイメージづくりに役立てたいと思っています。

(7年生担任 黒沼 亜矢)

7月入学説明会(7月19日・20日)

今年度初めての試みとして、1学期の終わりに入学説明会を実施しました。7月の初めまでは申し込みもまばらで、開催は失敗だったかな?と思われましたが、1週間前から徐々に申し込みが伸び、例年秋に開催している入学説明会以上の参加者がありました。編入希望家庭は夏休み中の面談の実施もあり、実りの多い説明会となりました。

ご家庭の都合により[A]日程のみ7月に参加して秋に[B]を受けられる家庭もあり、9月・10月の入学説明会の申し込みも例年以上にご参加の申し込みを頂いています。

秋冬は学内外で講座・イベントが満載です。これから入学を検討される方、まずは講座・イベントに足をお運びいただき、学園を身近に感じていただけたらと思います。お待ちしております。

子育てフェスタに出展

7月27日(日)国立オリンピック記念青少年センターにて開催された「シュタイナー子育てフェスタ」(シュタイナー幼児教育協会主催)、9月20日(日)かながわ県民センターにて開催された「かながわ子育てフェスタ」(かながわシュタイナー教育を育てる会)に出展しました。

ブースでは教育パネル展示、エポックノート、手仕事作品の展示、手作り品、焼き菓子、書籍を販売。

会議室ではそれぞれ大人のための学童期授業体験として、7月は「フォルメン」(8年生担任 横山義宏)、9月は「文字との出会い」(4年生担任 森田修)の模擬授業とレクチャーを行いました。

両日天候に恵まれず、全体的に客足が例年よりも伸びませんでしたが、来場して下さったお客様から「とてもよかった」と温かい声を多数いただきました。ありがとうございました。

校内研修 (9月13日)

9月13日(土)、今年二度目となる本校保護者向けの校内研修が十日市場校舎で開催されました。

今回の内容は、今年のオープンデーで大好評だった、教員によるエポック授業のレクチャー。エポックの構成要素である「リズムの部分」「学びの部分」「お話の部分」の意味や内容を詳しく説明しつつ、シュタイナー教育の素晴らしさを共有しようといった趣旨です。

漠然とシュタイナー教育の素晴らしさを実感しつつも、実際子どもたちは学校でどんな時間を過ごしているんだろう。まだまだシュタイナー教育を齧り始めたばかりの保護者たちにとっては、学校生活の中心を織りなすエポック授業を自分たちが体感できる貴重な機会です。

ここ、シュタイナー学校では9年間を通して毎日行われる100分のエポック授業。

とはいえ、やはり1年生と9年生ではその営みはがらりと違ってきます。

授業の最初「リズムの部分」のレクチャーは、9年生の朝の様子再現でスタート。西尾先生、神田(ひ)先生、横山先生が生徒役として待つ教室に、神田(昌)先生が「おはよう、おはよう」と堂々と入室。貴禄があります。高学年になると、100分の授業時間でこなせないほど盛り沢山の授業内容がある、ということで、我が学園では6年生以上ではもはや朝のライゲンはありません。9年生クラスでは、静かなグロッケンの音と一瞬の静けさを皆で共有した後、砂時計にリードされ「3分ドリル」で1日が始まるそうです。

代わって西尾先生による1年生のライゲンの紹介。9月の今は秋の虫の声を聴き、風に揺れるすすきを体現した、季節を感じるライゲン。小さな虫の声に耳をそばだててみたくなる、可愛らしいライゲンでした。

次に神田(ひ)先生による、飛んだり跳ねたりスクワットしたり、まったく雰囲気の違いライゲン。密かに筋肉痛になりそうです。こちらは、野を越え山越え歩きながら、集めたリンゴを数えるリスを模倣するうちに、自然と「数」を導入しています。荷物を持って3歩進んで2歩下がり。すると自然と、ああ、「マイナス」っていうのは進んだ分を戻ることなんだなあ、と、すとんと身体に落ちてきます。おもしろい。

「学びの部分」は森田先生の独壇場。3年生の家づくりにかかわっていく流れを体験しました。家長を中心とした大家族が日々の獲物を捕りに出かけ、毎晩の食

を囲む。その営みの中で「家」の持つ意味の重大さを体感していきます。私たちも4つの大家族をつくり、狩りに出かけました。最後は大きな大家族となり、家を建て獲物を囲み、皆で喝采を上げ…その後脱力して一息。先生の静かな語り口で、今日のお話が淡々と始まります。

最後の「お話の部分」は、身体を思い切り動かした後の静寂のひとつ。今回は、ある時代、独自の発想と技術で自分たちの家を造り上げていく3兄弟の話。たった今自分たちが家を造り上げた興奮とイメージが重なり、想像が膨らみます。皆ただじっくりと話に聞き入ります。今日の学びが静かに実を結ぶ、とても豊かなひとときです。

子どもにとって、100分1コマという長丁場と思わずにはいられないこのエポック授業。子どもたちが毎日飽きずに、というより楽しみに過ごす理由がよくわかりました。授業のすべての構成要素には巧みに起承転結が生まれ、飽きることがありません。

体感すること、これはシュタイナー教育の根幹でもあり、子どもにとってだけでなく大人にとっても貴重なことです。保護者としてそれを実感できた、とても有用な時間でした。そして、この素晴らしい授業を可能にする、その裏側にある膨大な準備の時間を考えると、先生方の深い情熱を感じないではいられません。その情熱こそがシュタイナー教育の源なのだと思う貴重な体験でした。

忙しい合間を縫って、子どもたちではなく保護者のためにまでこのような時間を割いてくださる先生方の情熱に深く感謝し、実際に体験出来た喜びに満たされた一日でした。

(1年生保護者 石倉 義子)

インフォメーション

講演会

「豊かに育つ子どもたちの話」

日にち：11月16日(日)
時間：13:00~15:00(予定)
場所：横浜市市民活動支援センター
(JR 桜木町駅より徒歩7分)
参加費：1,000円(会員 800円)
定員：25名

父親オススメ講座

「シュタイナー教育の可能性」

(仮題)
日にち：11月16日(日)
時間：10:00~12:00(予定)
場所：横浜市市民活動支援センター
(JR 桜木町駅より徒歩7分)
参加費：1,000円(会員 800円)
定員：25名

「建築講座」年間テーマ～色～

第2回「色と光」

日にち：10月23日(木)
時間：10:00~12:00
場所：霧が丘校舎
参加費：1,500円
シュタイナー建築家・岩橋亜希菜氏をお迎えしての連続講座です。

バイオダイナミック農業

ドキュメンタリー「ひとり農業」

上映会&トークショー

日にち：11月23日(日)
時間：13:30(上映開始)~16:00
場所：十日市場校舎
参加費：1,500円(野菜ディップ付)
シュタイナーによって提唱された太陰暦に基づいた有機農法であるバイオダイナミック農業。農園主・弓木野毅氏の奮闘記。

お問合せ、お申込み先

横浜シュタイナー学園事務局

Tel&Fax: 045-922-3107 e-mail: gakuen-info@yokohama-steiner.com

【会費・ご寄付等お振込先】

郵便振替：00260-0-130702

加入者名：特定非営利活動法人横浜シュタイナー学園

ゆうちょ銀行：店番029 支店名029店(せにわり店)当座0130702

アドヴェントの集い

日にち：11月30日(日)
時間：10:00~14:30
場所：霧が丘校舎
クリスマスのお話、生徒による小さな演奏会、ライアーコンサート、軽食&スイーツ販売、親子で楽しめるクリスマスワーク、手作り品販売、教育パネル展示ほか
*十日市場校舎にて学園見学会を開催
*内容等はホームページをご確認下さい

ジョン・ビリング ライアーコンサート

日にち：10月11日(土)
時間：16:30(開演)~18:00
場所：十日市場校舎
料金：前売り2,500円(会員2,000円)
当日3,000円(会員2,500円)
定員：70名
*満席で入場をお断りする場合もございます。できるだけ事前にお申し込みください。
★小学生以下のお子さまの入場はご遠慮ください。

ご寄付ありがとうございます

(順不同・敬称略)
7/19~9/1
学園祭(子どもたち主催)、一期生保護者、星の金貨
6/1~9/1 よこはま夢ファンドを通して酒井敏春、三角忠、坂谷承子、宮本雄司、亀山隆司

☆皆様からのご寄付は大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

学園周辺ぐるっと探訪会

日にち：10月11日(土)
時間：8:45~12:00
持ち物：お弁当・水筒・登山仕様のおやつ・雨具・ビニールシート・子ども用着替え
・帽子・虫よけなど
参加費：無料
集合場所：霧が丘校舎
帰りは十日市場駅までご案内します

茶話会/校内見学会

学園の雰囲気を感じていただけるこの機会に、どうぞお訪ねください。
茶話会(水曜日)
日にち：10月22日・11月19日
時間：10:00~12:00

校内見学会(金曜日)

日にち：10月31日・11月31日
時間：15:00~16:00
参加費：無料
場所：霧が丘校舎
学園にご興味・ご関心のある方はどなたでもお越しください。お子様連れも可です。
※お子様の上履きはご持参ください

星の金貨

今年も、「くるみのアドヴェントカレンダー」作りのための小物キットをご用意いたします。1セット3,000円、お渡しは11月5日頃を予定しています。数に限りがありますので、お一人様1セットでお願いいたします。

お問い合わせ

e-mail: hoshi-kinka@freeml.com

ブログ

<http://hosinokinka.blog100.fc2.com/>

横浜シュタイナー学園

Newsletter 第74号

2014年9月25日発行

編集：広報の会

発行：NPO法人横浜シュタイナー学園

<http://yokohama-steiner.com>

〒226-0016 横浜市緑区霧が丘3丁目1-20

TEL/FAX 045-922-3107

※掲載内容の無断転載はお断りします。